

G2弥生賞

<最終見解>

主流血統。ディープ系、Tサンデー系の血が特に走りやすいレース。

本命はシュバルツクーゲル。

父はディープ系のキズナ

母ソベラニアは欧州型でドイツ生産の繁殖牝馬。

母父はドイツの大種牡馬モンズン。

ドイツ血統は道中の追走が緩いレースを得意としているので、前走より追走スピードが速くなるとパフォーマンスを下げます。

前走は追走ペースが速くなる距離短縮&重賞で戸惑いました。

今回は距離延長でトライアル。

前走に比べ、ペースが緩みそうなのも上昇材料。